

「東大情報基盤センターのスーパーコンピュータ」利用制度説明会

「計算+データ+学習」融合へ向けて

中島 研吾

東京大学情報基盤センター

2021年10月8日（金）にオンラインで開催された『「東大情報基盤センターのスーパーコンピュータ」利用制度説明会「計算+データ+学習」融合へ向けて』¹の概要を報告する。

東京大学情報基盤センター（本センター）のスーパーコンピュータは様々な制度の元で利用することができる。本センターでは、利用者の皆様からは、電気代に相当する負担金を頂いているが、様々な公募制度を利用することにより、お得な使い方も可能である。本説明会は、下記に示すような制度、特に10月から課題募集が始まる2022年度4月開始の公募課題（HPCI, JHPCN, 若手・女性, AI for HPC, 企業利用）について詳しく紹介するために実施した。

- 一般利用, トライアル利用
- お試し利用, 講習会
- HPCI, JHPCN
- 若手・女性, AI for HPC
- HPC チャレンジ
- 教育利用
- 企業利用

また、来年度も運用を継続する、Oakbridge-CX（OBCX, 大規模超並列スーパーコンピュータシステム, 2019年7月運用開始）、Wisteria/BDEC-01（「計算・データ・学習」融合スーパーコンピュータシステム, 2021年5月運用開始）の説明も利用事例を交えて実施した。スーパーコンピューティングは従来の計算科学・計算工学シミュレーションからデータ科学, 機械学習・AIなどのより広範囲の分野をカバーするようになり、「計算+データ+学習」融合による新しい問題解決手法が注目されている。Wisteria/BDEC-01, Oakbridge-CXは大規模シミュレーションに重点を置きつつも、「計算+データ+学習」融合を目指したシステムである。本利用制度説明会では、従来の利用分野とともに「計算+データ+学習」融合を考えておられる研究者, 技術者の皆様に、本センターとしていかにお役に立てるか、情報をご提供できる機会になればと考え、実施した。本センターのスパコンの利用者でない方にも参加いただいた。合計33名の参加申込み（うち22名出席）があった。また、終了後は希望者に個別相談も実施した。

説明会の録画は、発表資料（PDF）とともに本説明会のホームページ（下記）でご覧いただけます。当日参加出来なかった方は是非ご覧ください！

¹ <https://www.cc.u-tokyo.ac.jp/events/seminar/20211008.php>